

No.145
2022/4/28



OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION



岐阜大学職員組合発行

〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1
Tel. 内線 9552 Fax 058-230-1118
E-mail: kumiai@gifu-u.ac.jp
HomePage: 岐阜大学職員組合 (検索)

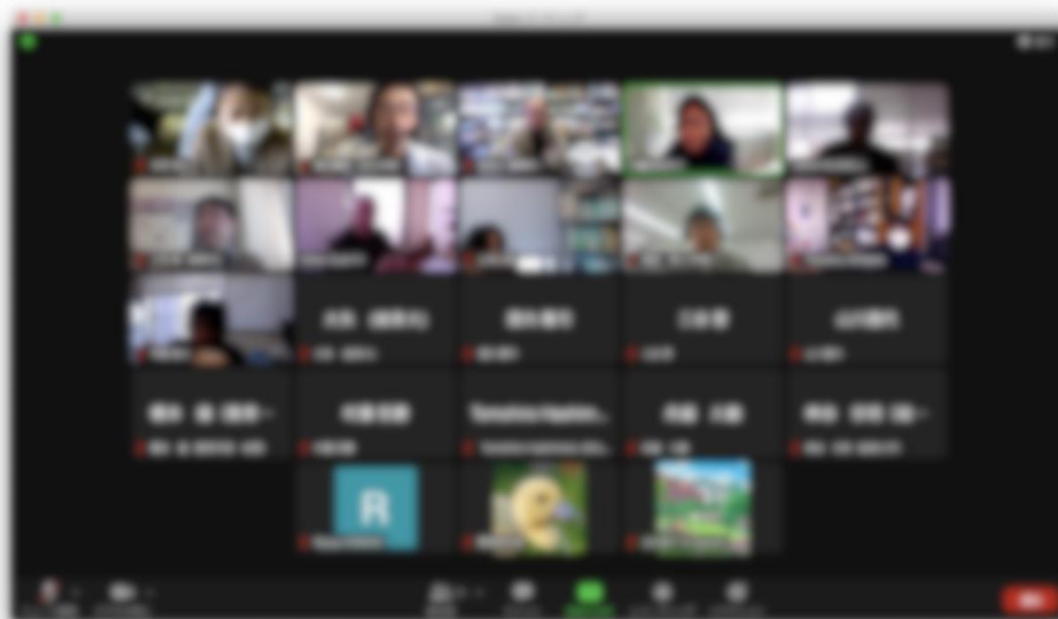
「退職者を囲む会」を開催しました

3月11日昼休みの時間に、2021年度末で退職される方々の送別会を開催しました。「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)における岐阜大学の活動指針」における「課外活動」のレベルが4(全面活動停止)の中、開催の有無も含めギリギリまで検討した結果、告知が遅くなってしまいましたが、最終的にZoomでの開催となりました。それにもかかわらず、30名近い方の参加がありました。ありがとうございました。

会では、退職者の中から地域科学部のJohn Russell先生と富樫幸一先生にお話しいただきました。Russell先生は、岐阜に赴任した当初にカマキリを見たことを思い出深く話されていたのが印象的でした。富樫先生からは、法人化当時の大学とのやりとりなど、組合にとっても重要なお話が伺えました。途中で音声に変換されてしまうトラブルに見舞われ、修復できないまま最後までお話しいただきましたが、若干むず痒かったです。

お二人以外にも、2021年度で退職される方としては、教育学部の池谷尚剛先生、緒賀郷志先生、川口妙子さん、地域科学部の稲生勝先生、工学部の亀山啓一先生がいらっしゃいました。皆様、長い間組合活動にご尽力いただき大変ありがとうございました。

また、お話しいただいたお二人からは、組合ニュースに寄稿していただきました。感謝いたします。(三宅)



変わぬ世界

ジョン・G・ラッセル
地域科学部



退職後の世界はどのような世界になるだろうか。

近年、グローバリズムが話題になっているが、これは最新しい現象ではない。

インターネットにより国境を越えた交流が促進され、人々の往来や情報の流れも容易に拡大されている。異文化交流の機会が増える一方で、誤解や排外主義がさらに表面化し深刻な問題になっている。

この度のコロナによるパンデミックの際にも、このような現象が見られる。世界各地で人の往来がコロナ株の蔓延の原因とされ、無知とシニカルな政治的計算による誤報が欧米でアジア人に対するヘイトクライムを煽っている。こうした現象は罵倒の対象が変わっただけで特に目新しいことではなく、既に80～90年代にかけてエイズに関する誤報がハイチ人、同性愛者、血友病患者らに対して同様の攻撃を誘導し、これらの人々に汚名を着せるのに役立った経緯がある。

戦争というもう一つのパンデミックがある。ロシアのウクライナ侵攻はその例だ。多大な民間人の犠牲者を出している戦争犯罪に対し、国際社会はロシア侵略に制裁を加えるために団結している。ロシアにも国営メディアの報道関係らが戦争を批判している。しかし、約20年前に、9・11テロの原因をイラクが「大量破壊兵器」を保有していると根拠なく主張したアメリカはじめ連合軍がイラク侵攻を開始した際には、反戦の声が挙がっていたにも拘らず、政府から独立し真実を伝えるはずの企業メディアが戦争を批判するどころか、むしろ支持し、多くの民間の犠牲者を出したがこれを戦争犯罪として追及しなかった過去がある。

他方、戦争は難民を生みだすが、全ての難民が平等に扱われているわけではない。ウクライナでは、アフリカ人、アジア人、中近東人が出国を求めても拒否され、白人のウクライナ人が優先されているという。また、現在、ウクライナからの難民を受け入れている国々は、非白人の難民の受け入れを拒否しているのが現状だ。普段、難民の受け入れが厳しい日本でもウクライナ人の難民を優先的に受け入れている。

哲学者ジョージ・サンタヤナは「過去を覚えていない人は、過去を繰り返す運命にある」という。人間は過去から学ぶ事を望むが、皮肉なことに人間はその望みを裏切る、という事象が歴史のもう一つの教訓でもある。

冒頭の問題に戻る。退職後の世界はどのような世界になるだろうか。その答えは残念ながら退職前にそっくりな世界になりそうだ。



富樫幸一（地域科学部等支部）



この35年間に大学も善し悪しはあっても、すごく変わりました。最初に教養部に来た頃は、まだのんびりしていて、数年に1回、支部の委員が来ても、教研集会や組合旅行をすればいいという感じでした。1991年に設置基準の大綱化があって、教養部の廃止が続き、岐大は文系の学部がないので日本初の一つの「地域科学部」をつくり、教養廃止後の全共の立ち上げを同時にやりました。

法人化に伴う就業規則や労働協約に関わったんですが、小さな子どもさんがいても入試などで勤務を命じることができるというのは拒否。続いて「裁量労働制」が教育職員に入るんですが、人事と交渉してた時「過労死したらどうするんだ」と言ったら「書類を書き換える」とコンプライアンス違反を言ったのでこれも拒否。

さらに年俸制の割合を2割にするというので、新規のテニユアトラックと、60才以上も年俸なら64,5歳の3%カットと、退職金の前倒し支給を入れてきて、過半数代表として説明を聞いていて、学内で最初に僕の所に説明にきたんですがこれも拒否。60を過ぎてまだ「3割30本」ってないですよ。定年を65に伸ばしたのと法人化が同じ年で、文科省が「勝手にやったんだから」とその分をくれなかったからです。これもすぐなくなったんですが。

地域手当でも、三重すら6%なのに、当時は岐大は3%で、それはないよと事務と一緒に嘆くしまつ。いまは6%になったけど、名大は15%、岐大に務めてて、名古屋から通っても勤務地によるので6%。次も名大の手伝いに行くことになってるんですが、東海機構だから手当てはなし。非常勤にも前に行ってたので、そうなるよと評議会でいっておいたのに。

地域や高校の外向けの営業はやるから学部内はまかせてたつもりが、「経営学部」騒動があって、本人は教授会で反対意見をいったのにつぶされて学部長をやるはめに。御用組合」じゃなくて「組合の御用学部長」。最終講義はなし、その代わりに「定年記念、ブラトガシのまちあるき」はやりました。3月26日に伊奈波に「岐阜ビール」のお店がオープンしたのでぜひどうぞ。

行事について

例年恒例の行事として、年度の変わるこの時期は「退職者を囲む会」「新規加入者歓迎会」と連続します。「退職者を囲む会」は先に述べたとおりzoomで開催ができました。しかし、「新規加入者歓迎会」はさすがにzoomでは打ち解けることもままならないと思われ、3月半ばの時点での状況に基づき、中止とさせていただきました。

世界的にはオミクロンが派生型BA.2に置き換わり、さらには新たな変異株XEの流行も懸念されていますが、なんとか持ちこたえて現状が維持されることを願っています。（三宅）

団体交渉を開始しました

前回の組合ニュースでも、団体交渉に向けて皆様から労働条件や大学運営に対する要望を募集しました。今回いただいた要望に、過去にまだ十分な回答や改善が得られていないものを加えて、「大学ガバナンスについて」「労働条件・手当関係」「福利厚生関係」の3つの項目にまとめ、3月末に学長宛で団体交渉の申込書を提出しました。

4月になり、国立大学法人東海国立大学機構長、名古屋大学総長、岐阜大学学長それぞれが新たに任命されトップが入れ替わりました。それに伴い、今後は吉田和弘新学長と交渉を行うこととなります。(三宅)

名大職組との懇談会を行いました

3月8日に、名大職組と岐阜大職組の執行委員の懇談会を前回同様 zoom で開催しました。話題としては定年延長、事務職員の異動、専門職の採用、新歓行事、人事院勧告、多段階認証など多岐にわたりました。さらに、両職組から機構長へ要望書を提出することが検討されました。これまで名古屋大学総長と東海国立大学機構長が兼任であったために、名大職組と総長の懇談会が機構長との懇談を兼ねていたのですが、4月より兼任ではなくなったために、機構長との意見交換をする機会が必要との判断からです。コロナ禍により zoom でやりとりをするのも敷居が低くなったこともあり、まずは zoom で両委員長と機構長の意見交換の機会を確立してきたいと考えています。(三宅)



急に暖かくなりました

4月7日は入学式でした。4月に入ってから急に暖かくなり、キャンパス内も本格的に春が訪れています。(三宅)

